

久喜市にゆかりがあり、全国的に活躍されている方を紹介する「久喜の人じまん」。第2回は、パラスポーツ走幅跳（はしりはばとび）日本記録保持者で東京2020オリンピック聖火ランナーをつとめるアスリートの酒井園実さんです。

interview

「好きなスポーツを見つけたら、
あきらめずに続けて頑張る」
さか かい の み
酒井 園実

Sonomi Sakai



「今回、東京2020オリンピック聖火リレーで聖火ランナーを務められるというのですが、どんな想いで参加されるのでしょうか。」

酒井さん インスタグラムで他の聖火ランナーの走りを見ていましたが、前回の東京オリンピックに参加した方が泣きながら走っているのを見て、とても感動しました。

今は新型コロナウイルス感染症の流行もあって大変な時ですが、やるからにはたくさんの方の想いが詰まった大切な聖火を無事届けたいと思っています。

「走幅跳という競技をしているわけですが、競技の魅力はどんなところにあるのでしょうか。」

酒井さん 走幅跳は、スピードとジャンプの角度によって距離が決まるので、それを調節することが楽しいなと思っています。

「競技をする上で大変だと感じるのはどんなところでしょうか。」

酒井さん 私が取り組んでいるのは知的障がいT20というクラスなのですが、このスピード、この高さで飛べばいいというのはわかるのに、そのために体をどう動かせばいいかというのを言葉で理解するのが難しく、練習の動画を撮影して観たり、コーチに何度もお手本を見せてもらおうなど、いつも試行錯誤しています。

「酒井さんはフルタイムでお仕事もこなされていますね。仕事と競技の両立は大変だと思いますが、競技を続けてこられた理由は何だとお考えですか。」

酒井さん 確かに、フルタイムなので拘束時間はそれなりにありますし、練習できる競技場も限られていますので、帰宅が遅くなるなど大変なこととはあります。それでも続けてこれたのは、家族の協力と、長期の休暇なども含めて勤務している会社に競技をすることへの理解が得られていることが大きいと思います。

発達障がいをもつ方は、なかなか障がいのことを周囲に話すことができない場合もあると思います。私の場合は周囲の方の理解があり、配慮もしていただけていますが、そのようにもって発達障がいということについて理解が深まり、周囲に話すことができやすい雰囲気広がればいいなと思っています。

「スポーツが好きな子どもたちへのメッセージをお願いします。」

酒井さん 自分で好きなスポーツを見つけたら、ぜひ続けて頑張ってみてほしいと思います。私自身、いいことも悪いこともありましたが、競技は好きですし、あきらめずに続けたことで、少しずつできることが増えていきました。なので、続けていけばきつということがあるよ、と伝えたいです。

▶ 聖火リレーは
ぜひネット中継で！

● LIVE



NHKライブ
ストリーミング

▶ 交通規制等の詳細は
HPで随時更新中！



久喜市
ホームページ



久喜市出身。中学生の時に発達障がいの一種である注意欠陥・多動性障がい（ADHD）との診断を受ける。高校生から走幅跳を始め、2018年にジャカルタで開催されたアジアパラ競技大会では、知的障がいT20クラスで5m02cmを記録し銅メダル。2019年順天堂大学陸上記録会で現在公認の日本記録となる5m13cmを跳躍。2021年6月の日本体育大学陸上競技会で、5m14cmを跳躍し、自らの日本記録を更新。